

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2022年10月20日(木)15:30~17:00 懇談会

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長) —

2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長) —

3. 研究公演

「口承文芸から現代詩、そしてヒップホップへ——モンゴルの韻踏み文化」

[詳しくはこちら](#)

モンゴルの韻踏み文化は、遊牧民の口承文芸に始まり、現代詩やヒップホップの歌詞へと受け継がれています。本公演では、モンゴルの詩の朗読家やラッパーを招聘することで、韻踏み文化の伝統と変容を考察していきます。

日時：2022年11月26日(土) 13:30-15:50 (開場 13:00)
会場：みんなインテリジェントホール (講堂)
定員：200名 (要事前申込み/先着順)
出演：D. ソソルバラム (歌手/俳優/演出家)、DESANT (ラッパー)
Gennie (ラッパー)
司会・解説：島村一平 (本館 准教授)
参加費：無料 (要展示観覧券)
※オンライン(ライブ配信)あり 300組



— 島村 一平 (学術資源研究開発センター 准教授) —

4. 学会実施報告

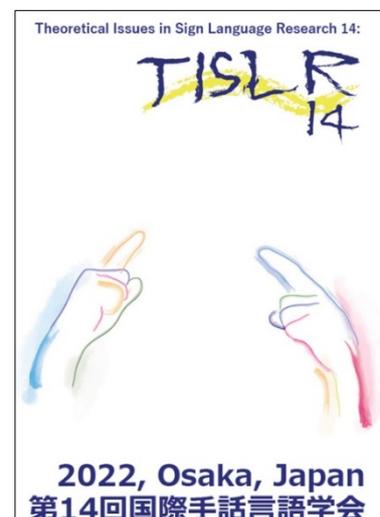
[詳しくはこちら](#)

第14回国際手話言語学会 (TISLR14: Theoretical Issues in Sign Language Research 14)

9月26日(月)から10月1日(土)に、「第14回国際手話言語学会 (TISLR14: Theoretical Issues in Sign Language Research 14)」を本館にて実施いたしました。本国際学会は、初の日本開催となりました。本館における学会開催の意義と、その成果について、ご報告します。

日程：2022年9月26日(月)~10月1日(土)
会場：みんなインテリジェントホール (講堂)

※今後開催予定の特別展関連イベントについてもあわせてご説明します。



— 菊澤 律子 (人類基礎理論研究部 教授) —

5. 最新の研究紹介

[詳しくはこちら](#)

『手話が「発音」できなくなる時 言語機能障害からみる話者と社会』

(石原和・菊澤律子編／ひつじ書房)



— 菊澤 律子 (人類基礎理論研究部 教授) —

6. 本館展示

[詳しくはこちら](#)

こども向け観覧ツールのご紹介

広く展示資料の多いみんなの常設展示場で、こどもたちが展示資料に向き合い、世界の人びとのくらしや文化に興味・関心を抱くためには、どのような支援が必要でしょうか。

みんなの博物館社会連携事業検討ワーキンググループでは、みんなの博物館での学びのきっかけや体験を提供し、その後の生活や学習へとつながるような観覧ツールを開発しました。

今回はこの中から、「アクティビティ・カード」と「こどもパンフレット」を中心にご紹介します。



(右) アクティビティ・カード
「これは、なに？」

— 岡田 恵美 (人類基礎理論研究部 准教授) —

7. 本館展示

[詳しくはこちら](#)

中央・北アジア展示リニューアルオープン

中央・北アジア展示場「シベリア・極北」コーナーの一部をリニューアルしました。

狩猟の映像と毛皮などを新たに展示し、ロシアの寒冷地で暮らす人々の生活を紹介します。

— 池谷 和信 (人類文明誌研究部 准教授) —



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報・IR係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp